

## 平成30年度企業版ふるさと納税活用事業

No.	事業	事業期間	分野	事業内容	寄附企業数 寄附額	重要業績評価指標(KPI)	実績値(a) 目標値(b)	達成率 (a/b)	検証結果(案)
1	熊谷スポーツ文化公園ラグビーの聖地化プロジェクト	H30年度	観光	ラグビーワールドカップ2019™の開催に向け、熊谷スポーツ文化公園ラグビー場に大型映像装置を整備し、試合観戦環境の一層の向上を図ることで、ラグビーの聖地としてのブランド力を高める。 【主な取組】 ○大型映像装置の整備 ○バナー対応型照明灯の設置 (その他) ○ラグビー専用グラウンドの整備 ○ケヤキ並木の整備 ○ラグビーワールドカップ2019™開催1年前イベントの実施等	7社 290万円	熊谷スポーツ文化公園有料施設*利用人数 *ラグビー場、陸上競技場、屋内運動施設、体育館、ソフトボール場、グランドゴルフ場	105.3万人 〔100.0万人〕	105.3%	熊谷スポーツ文化公園利用人数は目標を上回っており、ラグビーの聖地としてのブランド力を向上することができた。ラグビーワールドカップ2019™開催に向け、引き続きブランド力向上を進めていく。
2	埼玉の魚影豊かな川づくり推進計画	H30～R1年度	農林水産	県内の河川に魚を呼び戻し、釣り関連産業の活性化や川に親しむ交流人口の増加を図るため、魚の放流や外来魚・カワウ駆除対策を行う。 【主な取組】 ○釣り団体による入間川・荒川等への魚の放流 ○外来魚・カワウの駆除 ○彩湖等でのワカサギ生息数調査 (その他) ○釣り初心者向けアユ友釣り教室の開催 ○漁協組合員を対象としたバス駆除技術スキルアップ研修の実施	3社 120万円	遊漁券収入 遊漁者数	41,112千円 〔48,000千円〕 14,476人 〔16,900人〕	85.7% 85.7%	平成30年3月の高温を受けたワカサギの産卵時期のずれにより、予定していた汲み上げ放流が実施できなかった。また、放流種苗の安全のため、魚の放流は秋冬期に集中した。そのため、秋までの遊漁及びワカサギ釣りの遊漁券収入・遊漁者数が増加せず、ともに目標を達成することができなかった。
3	森林技術者の確保・育成計画	H30～R1年度	農林水産	林業への就業希望者を即戦力として養成する研修を実施し、森林の循環利用「伐って・使って、植えて、育てる」を推進する人材を育成する。 【主な取組】 ○森林技術者養成のための研修実施 ・森林・林業に関する座学研修 ・安全衛生教育 ・チェーンソー実技研修 ・森林整備・木材加工現場見学 ○研修用機材(森林3次元計測システム)の整備	3社 115万円	研修受講者のうち林業への就業者数	- 〔 - 〕	-	森林技術者養成のための研修を実施し、人材育成を行った。今後、研修受講者を林業への就業に確実につなげる必要がある。
4	米・麦・大豆の優良種子生産体制強化プロジェクト	H30～R1年度	農林水産	主要農作物である米・麦・大豆種子の安定生産体制を確立するため、各種子産地の将来ビジョンや需要を踏まえた「種子産地強化計画」を策定する。 【主な取組】 ○種子産地において新たな生産者確保のための数値目標や具体的な方策等を定めた「種子産地強化計画」を作成 (その他) ○関係団体と連携した種子生産技術等に係る講習会の開催や現地指導	1社 100万円	種子産地強化計画策定地区数(累計) 10a当たりの大豆種子収穫量	4地区 〔3地区〕 82.3kg 〔90.0kg〕	133.3% 91.4%	大豆種子収穫量は夏期の極端な乾燥や秋期の多雨の影響により目標を下回ったものの、種子産地強化計画は目標を上回る地区で策定され、種子安定生産のための体制づくりは進んでいる。